

数理情報学輪講 I・II / 博士輪講 I・II・III 要項

平成 30 年度

0. 数理情報学輪講 I・II / 博士輪講 I・II・III は毎回発表者を定め、授業期間中の金曜 14:55~16:40 に行い、その内容は発表者による講演と出席者による討論とする。修士課程の大学院生が発表者の場合、一人当たりの持ち時間は 50 分（質疑応答を含む）である。
 1. 本輪講の目的は、「各人の研究、または各人の研究テーマに関連した論文を題材にとり、研究発表の仕方、聴講・質疑応答の練習を行う」ことである。そのために、司会者、発表者、聴講者は以下に示すルールを遵守すること。
 2. 講演の内容は発表者が専攻する分野における文献の紹介（文献紹介）か、発表者の自己の研究の紹介（研究紹介）とする。あらかじめ、十分余裕をもって講演内容を指導教員とよく打ち合わせておくこと。研究室の輪講とは異なり、聴講者は一般に講演内容に関する予備知識がないことから、液晶プロジェクタ、OHP を使ったビジュアルエイドや予稿（配布資料）などを工夫して、分かりやすく説明するとともに、持ち時間以内に講演・質疑応答が終わるように十分準備を行うこと。
 3. 司会は博士課程の大学院生が担当する。聴講者は講演内容をよく聞き、分からない点があれば積極的に質問するとともに、輪講終了後コメント記入用紙に、講演内容に対する評価、コメント、質問などを記入して提出すること。
 4. 発表者は講演の一週間前までに、教室、開始時刻、発表者氏名、指導教員氏名、講演のタイトル、内容のアブストラクト（400 字程度）をまとめたものを電子メールで数理情報学輪講関係者（rinko@mist.i.u-tokyo.ac.jp）に知らせること。その際、「研究紹介」「文献紹介」のどちらであるかを明確にすること。文献紹介の場合は、文献に関する情報（著者、雑誌名、巻、ページ、年・月など）も知らせること。
 5. 発表者は講演前日までに、配布資料を電子メールで司会者に送ること。修士課程の大学院生が発表者の場合、発表者は講演の一週間前までに、予稿とビジュアルエイド（必要に応じて）を準備し、司会者に講演のアドバイスを受けること。

注 0. 本年度の数理情報学輪講 I・II / 博士輪講 I・II・III の幹事は、
田中久美子教授である。

輪講幹事のメールアドレスは rinko_kanji@mist.i.u-tokyo.ac.jp である。

注 1. 輪講の日程及び会場は別紙のとおりである。

日程や会場の変更は電子メールで連絡する。

また、最新の日程表はウェブページに掲載しているので各自確認すること。

<http://www.cl.rcast.u-tokyo.ac.jp/H30Sseminars/>

注 2. 特別な理由で輪講を欠席する際は、上記ウェブページより欠席届をダウンロードし、指導教員の許可を得て事前に 計数事務室 へ提出すること。

注 3. 5 分以上の遅刻は欠席と見なします。